

第5回 気候変動・省エネルギー行動会議 BECC JAPAN 2018

Behavior, Energy & Climate Change Conference

気候変動対策の新しい国際的枠組みであるパリ協定が2016年11月に発効し、国内での関心も高まりつつあります。私たちは、消費者に新しい価値を提供しつつ、同時にエネルギー・環境をめぐる課題に対処していかなければなりません。さて、2017年に行動経済学の権威である米国のリチャード・セイラー教授がノーベル経済学賞を受賞され、「Nudge (ナッジ)」という言葉が国内でも耳にするようになりました。英国や米国では心理学などの行動科学の知見を、マーケティング分野にとどまらず公共政策全般、すなわち省エネルギーや環境対策の分野にも応用しています。米国では、そういった知見を集約し、省エネルギー行動を促す効果的な働きかけ方を議論する場として、2007年からBECC (Behavior, Energy and Climate Change) Conferenceが毎年開催されています。BECC JAPANは日本版BECCとして、2014年の第1回から今年で第5回目を迎えました。省エネルギーのための行動変容に着目し、国内における最新の調査研究・実証事業等を皆様にお届けします。エネルギー業界、住宅・建築業界、メーカー、大学・研究機関、行政など幅広い分野の皆様のご参加をお待ちしております。

日時・会場

【本会議】

平成30年8月23日(木)

一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

【施設見学会】

平成30年8月24日(金)

柏の葉スマートシティ (千葉県柏市)



- 最寄り駅
●「神保町駅」
A8・A9出口から徒歩4分
東京(丸の内線・池袋方面)・大手町(半蔵門線・渋谷・中央林間方面)・神保町(10分)
- 「竹橋駅」
1b出口から徒歩4分
東京(丸の内線)地下中央口より地下道で直結・大手町(東西線・中野方面)・竹橋(10分)
- 所在地
東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
- 東京駅より「車」5分～10分
講演者専用の駐車場がございます。利用の際は事前にご連絡ください。
一般出席者の駐車場は設けておりません。近隣の有料駐車場(パレスサイドビル等)をご利用ください。
タクシーや送迎車での乗降のみの場合は講演者、出席者共に車寄せをご利用いただけます。

参加費

●8月23日(木)	本会議	
	一般	20,000円
	教育・研究機関	15,000円
	学生	7,000円
●交流会		2,000円
●8月24日(金)	施設見学会	無料

参加申込

<http://seeb.jp/> お申込みは左記 web サイトから
申込メット8/20

全体プログラム

8月23日(木)	本会議(定員250名程度) 一橋大学一橋講堂		
9:30~10:00	受付開始	14:10~14:50	ポスター発表セッション
10:00~10:05	開会挨拶	14:55~16:10	口頭発表セッション3A / 口頭発表セッション3B
10:05~10:20	来賓挨拶	16:20~17:10	ライトニング発表セッション4A / ライトニング発表セッション4B
10:20~11:30	基調講演 「人を動かす仕掛けのアイデア ~「ついしたくなる」には仕掛けがある~」 松村 真宏 氏 大阪大学大学院経済学研究科 教授・博士(工学)	17:15~18:05	口頭発表セッション5A / 口頭発表セッション5B
11:30~12:20	ランチ休憩	18:20~19:30	交流会
12:20~13:10	口頭発表セッション1AB	8月24日(金)	施設見学会(定員38名) 柏の葉スマートシティ
13:15~14:05	口頭発表セッション2AB	10:00~11:30	ツアー
		11:30~12:00	質疑応答

行動変容を促す手法である「仕掛け」についてご研究されている松村先生にご講演いただきます。
著書:『人を動かす「仕掛け」2017年、「仕掛け」人を動かすアイデアのつくり方』2016年、他

主催: 気候変動・省エネルギー行動会議 後援: 経済産業省、環境省、一般社団法人日本エネルギー学会、一般社団法人エネルギー・資源学会
協賛: 東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、日本オラルクル株式会社(Oracle Utilities Global Business Unit)、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社、電気事業連合会、日本ガス工エネルギー普及促進協議会、積水ハウス株式会社、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
協力(施設見学会): 三井不動産株式会社

問い合わせ先 **気候変動・省エネルギー行動会議**

事務局 (株)住環境計画研究所 / Email info(at)seeb.jp ※(at)は@に書き換えてください / 電話番号 03-3234-1177 (代表)

本会議の詳細プログラム

(1) 口頭発表セッション

1AB ホームエネルギーレポートによる省エネルギー効果検証

マレーシアやインドにおけるナッジ型省エネ事業の可能性と課題

司会：日高一義（東京工業大学）

ヘイグ ケン（日本オラル株式会社）

ホームエネルギーレポートによる省エネ効果の地域性・持続性に関する実証研究

平山 翔（株式会社住環境計画研究所）

2AB 省エネルギー・環境教育

学校における省エネ教育による行動変容の可能性～中高生を対象としたプログラム開発及び試行的実証～

司会：松葉口 玲子（横浜国立大学）

三神 彩子（東京ガス株式会社）

省エネ行動の説得的コミュニケーションにおける経済的地位の影響

杉浦 淳吉（慶應義塾大学）

3A 省エネルギー行動を誘発する情報提供

書画カメラとテレビ、小学校の備品を使ったエネルギー環境教育の実践報告

司会：天野 晴子（日本女子大学）

岡崎 朱実（北海道グリーンファンド）

消費者の選好した情報提供による省エネルギー効果

大塚 彩美（横浜国立大学大学院）

暖房制御と見える化システムを備えた省エネサポートシステムの開発

ユウ ローリン（株式会社住環境計画研究所）

3B HEMS・スマートメータのデータ活用

HEMS データを活用した家庭用エネルギー診断の累積効果

司会：前 真之（東京大学）

八木田 克英（東京大学生産技術研究所）

新築戸建住宅を対象とした省エネルギーアドバイスの実証研究

岩松 俊哉（電力中央研究所）

スマートメータ版ホームエナジーレポートの実証研究

向井 登志広（電力中央研究所）

5A 住宅リフォーム、省エネルギー型設備機器の普及

戸建住宅の断熱リフォームの普及促進に向けた調査研究

司会：坊垣 和明（東京都市大学）

前 真之（東京大学大学院）

環境配慮行動の実践度と省エネ型機器購買選択における意思決定に関する研究

天野 晴子（日本女子大学）

5B エネルギー情報提供サービス

スマメータによる需要予測を活用した事業所向け最大需要電力抑制アラートのサービス化に向けて

司会：八木田 克英（東京大学）

小松 秀徳（電力中央研究所）

スマートフォンを活用した家庭向け省エネサービスの実証研究

西尾 健一郎（電力中央研究所）

(2) ライトニング発表セッション

4A フィールドにおける効果検証

スマートフォンアプリを活用したエコドライブサービスの実証研究

司会：杉浦 淳吉（慶應義塾大学）

大我 さやか（デロイトトーマツコンサルティング合同会社）

簡易な情報提示による省エネルギー行動誘発

糸井川 高穂（宇都宮大学）

大学における省エネ教育プログラムの効果検証

赤石 記子（東京家政大学）

家庭における親子の省エネルギー意識・行動の定着に関する研究 その2

高田 宏（広島大学大学院）

4B 省エネルギー型設備機器の選択や省エネルギー行動の規定要因

機能別 HEMS 需要関数測定結果の日米比較

司会：三神 彩子（東京ガス株式会社）

鷲津 明由（早稲田大学）

EBPM による環境配慮行動習慣化に関する研究

船木 里菜（早稲田大学）

EC サイトにおける省エネ情報の効果的な表示方法に関する検討

小野 裕明（経済産業省資源エネルギー庁）

電子チラシサービスによる家族世帯向け省エネ情報発信の実証実験

玄 姫（株式会社住環境計画研究所）

(3) ポスター発表セッション

- 1 クールスペースの利用実態調査と利用促進手法の検討
池山 佳幸（九州大学大学院）
- 2 電気代明細書を省エネ行動誘発に活かす
鈴木 彩花（宇都宮大学）
- 3 電力契約の変更行動に関する研究
天羽 伸二（東京工業大学）
- 4 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究
：「東急グループで取り組む省 CO₂ 推進プロジェクト」の全体概要
吉田 一居（株式会社東急不動産 R&D センター）
- 5 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究
：一般集合住宅と燃料電池を設置した集合住宅におけるエネルギー消費に関する研究
坊垣 和明（東京都市大学）
- 6 CFD によるリフォーム前後の室内温熱環境の検証及び快適性の評価
中村 遼（東京大学大学院）

- 7 省エネ行動を中心としたナッジの活用方法に関する最新動向とその考察
伊原 克将（デロイトトーマツコンサルティング合同会社）
- 8 集合住宅の共用部中間領域での交流イベントにおける行動と省エネ効果
加茂 みどり（大阪ガス株式会社）
- 9 大学新入生向け省エネ家電購入促進実証実験
小林 翼（株式会社住環境計画研究所）
- 10 夏季・冬季の空調利用の変化が睡眠に及ぼす影響
浅倉 弘亮（慶應義塾大学）
- 11 IoT センサによる行動観察とインタビューによる省エネ行動阻害要因の抽出
三浦 輝久（電力中央研究所）
- 12 照明の LED 化は家計の電力消費量をどれくらい削減しているのか？
尾沼 広基（早稲田大学）
- 13 電力消費に関する比較情報が与える電力消費行動への影響
森谷 孟史（東京工業大学）